

(様式3-2)

揭示文書

下記の研究を行います。

この研究では「後向き観察研究」を行います。通常の診療で得られたカルテ・画像・検査・病理所見等の記録を用いて評価します。このような研究は厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規程により研究内容の情報を公開することが必要とされています。また、当院の倫理審査委員会において承認されています。

研究課題名	膀胱全摘術前の化学療法の検討-GC療法と GCarbo療法の比較-
研究の主催機関	国立病院機構仙台医療センター
研究責任者	後藤拓郎
研究目的	膀胱全摘術前の化学療法の効果を評価し、最適化すること
研究期間	2023/06/01～2024/05/31
研究方法概略	電子カルテから、膀胱全摘を受けた患者様の年齢、性別、術前ステージ、腎機能 (eGFR)、年齢調整を行っていない Charlson comorbidity index (CCI)、NAC 数、術後補助療法の有無、転帰について調査し、化学療法の効果、周術期成績を評価します。
個人情報	利用する情報から名前、住所など患者さんを特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、個人を特定できる情報は利用しません。
本研究の資金源	<input checked="" type="checkbox"/> なし、 <input type="checkbox"/> あり()
利益相反	<input checked="" type="checkbox"/> なし、 <input type="checkbox"/> あり
問い合わせ先	国立病院機構仙台医療センター (泌尿器)科 職名(医師) 研究責任者氏名(後藤拓郎) 連絡先 tel. 022-293-1111